

## 第4回要配慮者支援対策部会 議事要旨

日 時：平成24年12月17日（火）午後3時～5時55分

場 所：市役所会議室2

出席者

部会長：梶山委員

委 員：中村委員、神田委員、山口委員、木下委員、斉藤委員、福岡委員  
岡島委員、西野委員、前川委員  
（欠席）藤井委員、

事務局：嶋谷危機管理監、新開総括主査、大江

部会長 委員に参集のお礼。

部会長 第1回から第3回まで、要配慮者避難支援に関する問題点・課題の抽出、解決策について検討していただいた。それを基に長岡京市災害時要配慮者避難支援プラン（案）を作成し、報告書に代えたい。

案件1 長岡京市災害時要配慮者避難支援プラン（案）について事務局から説明していただく。

事務局 長岡京市災害時要配慮者避難支援プラン（案）について説明。

部会長 項目ごとにご意見をいただきたい。

先ず、**1 基本的な考え方**について委員の意見を伺いたい。

委 員 この計画書は防災計画の中に入れるのか。

事務局 現行の防災計画は、要配慮者に関する記述が乏しいので、この計画書の内容を入れて充実したものにした。

委 員 地震発生確率60%前後の引用先を明記するべき。

事務局 確認し、明記する。

委 員 要配慮者マップは作成するのか。

委 員 GISと連動したマップを作成すべく、作業を進めている。対象者が増えるとマップの作成が遅れる。

委 員 避難支援プランの全体計画と個別計画の位置づけが分かりにくい。

委 員 全体計画と個別計画をイメージ図などで説明すると理解しやすくなる。

事務局 表現方法を工夫する。

委 員 今年の夏の京都府南部豪雨（宇治市等）の被害も入れてはどうか。

事務局 本市の避難支援プランであるため、他市の状況は記載しない予定。

部会長 ほかに意見、質問等はないか。

次に、**2 災害時要配慮者の対象範囲**について委員の意見を伺いたい。

- 委員 療育手帳Bの障がい者はどうするのか。
- 委員 高齢者の把握が難しい。
- 委員 対象者の独居の方でも、訪問すれば息子夫婦と同居されていて、申請内容と全く違うことが多々ある。
- 委員 前置きで絞り込みを明記している。
- 委員 手上げ方式だからこのままでいいのでは。
- 委員 対象者に広報、郵送の併用をしてはどうか。とにかく周知することが大事である。
- 委員 高齢者のみの世帯を77歳以上にしてはどうか。実態調査を実施しているので参考になる。
- 委員 行政で一定範囲を絞り込んでから民生児童委員にお願いする。
- 委員 一定の年齢を超えるとケアマネに付く方が多くなる。ケアマネの協力体制が必要。
- 委員 民生児童委員は、客観的に今でも見られていないのに、範囲を拡大しても対応できない。
- 委員 対象者の絞り込みをしたから、対象範囲を広げてもいいのでは。
- 委員 身障者で重度の人は支援が厚い。
- 委員 3障がいの人を入れるべきではないか。精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人も対象にすべき。
- 委員 前回、要配慮者支援実施要綱の作成過程では、民生児童委員連絡協議会や自治会長会に諮った。
- 委員 ②要介護者と③障がい者を民生児童委員以外で回ってもらえないか。
- 委員 同意書にサービス提供事業所を入れるべき。
- 委員 第三者の支援の制約で、ある程度絞り込みができています。臨機応変に対応することが必要。

部会長 次に、**3 要配慮者情報の収集・共有の方法**について委員の意見を伺いたい。

- 委員 要配慮者との信頼関係を前提にする。災害のために使う同意を得て共有する。問題はない。
- 委員 手上げ方式、同意方式の表現方法がわかりにくい。
- 事務局 表現を変更する。

部会長 次に、**4 避難支援体制**について委員の意見を伺いたい。

- 委員 要配慮者支援係だけ平常時の業務を規定するのはどうか。  
事務局 平常時から業務をしておかないと、災害時に対応できない。ご理解いただきたい。
- 部会長 次に、**5 避難準備情報・避難勧告・避難指示等の発表、伝達方法**について委員の意見を伺いたい。
- 委員 情報伝達手段は、「障がい者」ではなく「要配慮者」にする方がよい。
- 部会長 次に、**6 防災ハザードマップ等の整備・活用方法**について委員の意見を伺いたい。
- 委員 地域住民の意識向上も大切だが、関心を持って学ぶことがもっと大切。要配慮者も自助を学ぶことを位置づけてはどうか。
- 部会長 次に、**7 避難誘導・経路等**について委員の意見を伺いたい。
- 委員 アンダーパスの意味が分からないので、説明してほしい。  
事務局 具体的にいえば、サントリー通でJRの下をくぐるような道路を言う。
- 部会長 次に、**8 避難所における支援方法**について委員の意見を伺いたい。
- 委員 一般人の避難支援はどうするのか。  
事務局 避難対策部会で取り組んでいる。この部会では、要配慮者について検討している。
- 委員 要配慮者に対して、避難所の質をどう保つか。  
委員 洗濯物を干す場所を考える必要がある。  
委員 音情報は、一過性があり残らない。文字情報が必要。また、双方向の情報がやり取りできれば、さらに有効。
- 委員 福祉避難所は、人の手立てを含めた協定が必要である。どこまで協力してもらえるのか確認が大事。
- 部会長 次に、**9 要配慮者避難訓練の実施**について委員の意見を伺いたい。
- 委員 地域や自治会のイベントの声かけなどがきっかけになる。
- 部会長 次に、**10 個別計画の策定の進め方**について委員の意見を伺いたい。

- 委員 いのちのカプセルなど既存制度をうまく活用できないか。  
委員 要配慮者にも情報をもっと提供する。  
委員 この計画を自治会長会に説明することも必要。  
委員 手法については検討する必要がある。  
委員 最寄りの避難所を記入する。  
委員 ケアマネ、主治医の情報などを記入する。  
委員 プランのモデル等を示す必要がある。  
委員 複数で一人を支援するなら、重責が軽減される。  
部会長 熱心に検討いただいた。事務局で各委員から出していただいた意見を参考に、避難支援プランの修正をしていただく。

案件2 その他について事務局から説明していただく。

事務局	今後の日程について説明	
	避難支援プラン（案）の追加・修正等	12月26日（水）締切
	第4回議事要旨の確認	1月中旬
	第2回防災会議で審議	1月29日（水）
	パブリックコメント	2月中
	第3回防災会議	3月中

部会長 委員の皆様から本日の部会あるいは今までの部会に関する事で、ご意見等がありましたら、お願いしたい。

ご意見がないようですので、以上の議事をもって、第4回要配慮者支援対策部会を終わります。